2022 年第 23 回認定看護管理者会総会・研修会の報告

日時：2022 年 1 月 22 日（土）10:00～16：00
会場：Web 開催
参加者数: 196 名　委任状 303 名　（会員総数 877 名　　2021 年 11 月 30 日現在）
　　会則第 14 条に従い、委任状に含め過半数を超えたため総会成立。

●総合司会

福地副会長

長田副会長

総会（10:00～11：02）
　報告第 1 号　2021 年事業報告(重点目標総括他)
　報告第 2 号　2021 年会計報告・会計監査報告
　議案第 1 号　2022 年事業計画
　議案第 2 号　2022 年予算
　議案第 3 号　会則改正
　議事録 4 号　役員改選
　　「議案第 3 号　会則改正」に関しては、「現行の第 5 章　役員　第 11 条　五、監事は会の収支状況が正確且つ適正に行われているか監査する。この文章が、案　五　監事は、その他の役員の業務の執行状況及び会計を監査する。の中に省かれて良いのか」の質問に対して、会長より「理事会で検討し会報で報告する。ただし、監事の業務に役員の執行状況を追加することについての承認はお願いしたい。その為、議事第 3 号の正式な文言については保留」との回答があった。その旨で、議案はすべて承認された。2022 年は下記の目標や活動計画を以て、各地区ブロック役員とともに活動する。

【2022 年　重点目標】
1．認定看護管理者として社会情勢にあわせた活動を推進する
　1）地域連携を実践する
　2）看護職が働き続けられる勤務環境改善に取り組む
　3）都道府県の認定看護管理者の会との連携を図り、活動を活性化する

【活動計画】
1．地区ブロック活動でオンラインを活用した取り組みを強化する
2．認定看護管理者の成果を研究プロジェクトであらわすとともに看護管理のあり方で差別化を図る

ブロック別懇談会（11：10～11：50）
　地区ブロックごと、合計 28 グループに分かれて参加者で討議した。
　2022 年の重点目標に基づき、「次年度の活動計画」「次年度の研修計画」等をテーマに意見交換するとともに、日ごろの思いを伝え合った。

ランチョンセミナー（12：00～12:50 ）

【転倒による事故を予防する～新たな発想「ころやわ」はその解決の一助となるか～】

主催：株式会社マジックシールズ

前半は、転倒転落のアセスメントについて、後半は「ころやわ」商品の開発経緯から現時点の状況説明を行った。転倒転落を完全に予防することはできないが、たとえ転んでも重大事故にならないような工夫が必要。転倒で事故を起こす環境要因のひとつである床に着目した今回の商品。209 名の参加があった。手上げよりチャット機能での質問を多く受けた。2 月以降に会社ホームページにて具体的な価格などの商品紹介がなされるとのことであった。人生 100 年時代元気に過ごすためにも、さまざまな分野のテクノロジーを駆使し、さらなる進化のためにも、現場の意見を頂ければと投げかけ終了した。

※企業にご興味のある会員は、下記のホームページをご覧ください。

2 月中旬以降、新商品、金額等が掲載されるようです。

URL　https://www.magicshields.co.jp/

特別講演（13：00～14：30）参加者 239 名

【コロナ禍における認定看護管理者としての経営戦略】

講師：株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

シニアマネジャー　　湯原淳平　先生

内容：コロナ禍において、認定看護管理者がより一層の経営戦略を考え実行することが求められている。その中で、管理者に必要な基本的な知識として財務の考え方について説明された。また、2022 年度診療報酬改定の具体的な理解すべき内容についても、項目を上げ、より具体的に説明された。看護管理者として、どのように看護の評価をされているか考える機会を与える研修となった。

実践報告（14：40～15：55）参加者　233 名

実践報告者　3 名

１．慢性期病院でのケアの質向上をめざす

看護職と介護職の協働体制実現に向けた取り組み

医療法人愛全会地域ケア連携推進室　室長代理　高橋佳恵氏

２．専門看護チームによる看護の質マネジメントシステムの構築

高岡市民病院　副院長・看護部長　米山美智代氏

３．「PNS 成功の鍵」　コッターの変革理論 8 段階で考える

福岡大学筑紫病院　看護部長　樋口靖子氏

内容：それぞれの活動の具体的な内容は違っても、看護管理者として、やるべきことの裏付けが明確であること、反対勢力を巻き込み丁寧な説明責任を果たすこと、そして計画の透明性、PDCA がうまく回っていることについては一致していた。そして、強制とならないように柔軟に微調整するしなやかさが 3 報告に見られた。その心は、

ぶれない信念であることを改めて痛感させられた。管理者の苦労は管理者だからこそわかりあえるため、とても充実した実践報告会だった。

最後に

認定看護管理者会の総会は、2021 年に続き 2022 年も Web 開催となった。新型コロナウイルス感染症と向き合い 2 年が経過した。社会もそれぞれの生活も変化している中、認定看護管理者である私たちは、ケアの心を持ち続け、看護管理実践に取り組んでいきたいと思っている。今回の総会において、Web 開催が実現できたことは(株)システナ職員の方々の御協力があってこその成果だと感じています。次回総会では、新型コロナウイルスが収束し、会員の皆様と集うこと強く期待しています。

以上